

## 「暁之碑」

### 三重県鈴鹿市・玉垣地区

三重県北部の鈴鹿市は、北の四日市市と南の津市の上に位置し、東は伊勢湾に面している。人口約 20 万人の工業都市で、23 の地区から成る。戦前は陸軍、海軍の軍事基地及び軍需工場が数多く建設された。戦後の緊急開拓事業により、軍用地跡に開拓者が入植した。

陸軍、海軍とも施設は航空関連が中心だった。市北部の深伊沢地区には、陸軍の北伊勢飛行場と迫分飛行場があった。航空隊の搭乗員の養成が主な目的だった。1948（昭和 23）年から、56 戸が入植し、開墾。現在、戸数は少なくなったが、酪農などが営まれている（本紙 658 号で紹介）。

市東部の玉垣地区には、鈴鹿海軍航空基地があった。航空隊飛行練習生の練習飛行場として建設されたが、戦争末期には実戦部隊の基地となった。46 年から入植した開拓者は、その地を開墾し、畑作物を栽培したが、なかなか売れるものができなかった。

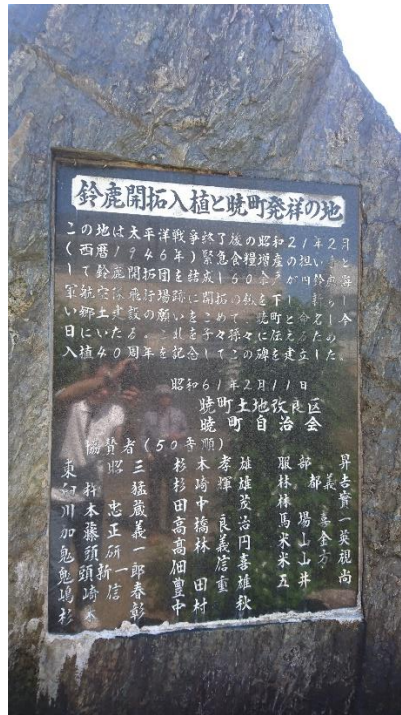
現在、国道 33 号線や近鉄名古屋線などが通り、交通の要衝となっている。電気や食品関係の大きな工場、大型スーパーなどがあり、工業地域と住居地域が混在している。

同地区の南玉垣町の住宅地の道路沿いに、石碑がある。86 年に <sup>あかつき</sup> 暁自治会と暁町土地改良区が建立したもので、「暁之碑」と刻まれている。

裏面には、上端に「鈴鹿開拓入植と暁町発祥の地」とある。続く碑文には、「この地は太平洋戦争終了後の昭和 21 年 2 月（西暦 1946 年）緊急食糧増産の担い手として鈴鹿開拓団を結成し 60 余戸が旧鈴鹿海軍航空隊飛行場跡に開拓の鋤を下し、新しい郷土建設の願いをこめて、暁町と命名し今日にいたる。これを子々孫々に伝えるため、入植 40 周年を記念してこの碑を建立した」と記されている。

### ○ 三重県 鈴鹿市 南玉垣町地区

鈴鹿市南玉垣町の富士電機工場の近く、ダイニングとしかわの隣に「暁之碑」として建立。住宅地の外れである。



### 鈴鹿開拓入植と曉町発祥の地

この地は太平洋戦争終了後の昭和21年2月（西暦1946年）緊急食糧増産の担い手として鈴鹿開拓団を結成し60余戸が旧鈴鹿海軍航空隊飛行場跡に開拓の鋤を下し、新らしい郷土建設の願いをこめて、曉町と命名し今日にいたる。これを子々孫々に伝えるため入植40周年を記念してこの碑を建立した。

昭和61年2月11日

曉土地改良区 曉町自治会 協賛者 略（23名）